

メイメイ



令和7年
6月

力を合わせた集合学習

六月十一日（水）から十五日（日）に、鹿兒島市立少年自然の家で、前期課程の集合学習が行われました。学習した五・六年生に聞いた話を一部紹介します。

五年 市川 笑和

この集合学習で、私たちはたくさんさんの遊びやカレー作り、ウォークラリー、プラホビー、租税教室などを体験しました。その中でも、特に印象に残っていて楽しかったもののベスト3を発表します。第三位は「GCG」です。色々な種類のゲームができ、グループでチャレンジすることで、より仲が深まり、楽しさも倍になりました。第二位は「船がスライドになったこと」です。仲良くなったほかの島の子たちと少し長く一緒にいることができました。また、雨が降ったときにする予定だったゲームができました。第一位は「準備の時間」です。準備の時間に石島の子が、フランス語を教えてくれたり、ダンスをしたり、女子同士でしか話せないことを話したりするのが楽しく、ずっと一緒にいいなと思うくらい楽しかったです。来年の修学旅行でまた会えたらいいなと思っています。

五年 救仁郷 朔也

僕はこの集合学習で初めてだったことが沢山ありました。一つ目は移動です。ふつうの学校なら、バスで一時間くらいしかからないのに、宝島から鹿兒島港まで十三時間、そこから少年自然の家まで約四十分かかり、移動だけでもと

ても時間がかかったのです。いいなと思いました。

二つ目は仲間です。十島村の集合学習では、各島の児童が少ないので、合同で様々な貴重なことがあります。三つ目は移動中の交流です。十三時間の間に、どんどんフェリーに乗ってくるほかの島の人たちと仲良くなるという試練がありました。最初は不安だったけれど、案内人など仲良くできました。そして、帰りの船ではせっかく仲良くなり集合学習と一緒に頑張った仲間たちが少しずつ減っていく悲しさと寂しさをすごく感じました。最後は延泊です。悪石島の校長先生も言われていたように、普通の学校では経験できないとても珍しいことで、その延泊のおかげで予定になかった、天体観測や自由時間、そして、友達との交流の時間も増えたので、とても嬉しかったです。僕はとても珍しい経験をしたのだなと感じました。



【おいしいカレーライスができました】

自分の命を守るための行動

六月六日（金）の二時間目に防災教室がありました。村の教育委員会の森永さんと木田さんとベッパ君がいらつしやいました。今回は地震についての防災教室で、四つのチームに分かれてやりました。最初は番号が配られ、ルーレットで当たった番号の人がベッパ君とお話をしました。次に、プリントが配られ、地震が起こったとき、「どんな様子なのか」や「どんな行動をすればいいか」をチームごとに考えて、発表しました。また、ベッパ君が、地震で家が揺れたとき、安全な場所を見つけるための「物が移動してこない」、「落ちてこない」、「倒れてこない」の「三つのない」について教えてくれました。このことを実際に地震が起こったときに生かして避難しようと思います。

おすすめの本

今回紹介するのは『ホームレス中学生』という本です。これは、麒麟の田村裕さんが中学生から大人になるまでを描いた作品です。おすすめの理由は、一家離散など、びっくりする経験をしているのに、作者はどんなことがあっても切り替えが早く、とても前向きで、家を離散した張本人の父親のことも恨まず、自分の失敗談を書いていて、感動したり笑えたりするということです。さらに、日頃、体験できないことがたくさん書いてあるので、とても勉強になります。僕らと大体同じ年の話なので、ちょっとだけ共感できる場所もあると思います。五・六年生や後期課程の人におすすめします。

宝島の音を届ける

五月三十一日（土）マリンキッズメンバーのうち、五人が奄美で行われたFEESFESに参加しました。このフェスは音楽が好きな十代が参加するフェスで、今年が初めての開催でした。マリンキッズはトップバッターに選ばれました。とても緊張しながらも演奏を無事終えることができました。

メンバーは本番前から緊張した様子で、お互いに「ゆっくりね」や「笑顔で！」と声をかけ合い、本番に備えていました。本番では、大きなミスもなく一か月練習してきた成果を十分に発揮することができました。応援に来ていた他のマリンキッズメンバーからも「すごく上手だった」や「かっこよかったよ」と声をかけてもらい、達成感につつまれて奄美遠征を終えることができました。惜しくも賞をとることはできませんでしたが、この経験をを通して、とても成長することができました。協力、応援してくださった皆さん、ありがとうございました！

日々の成長

五月をふり返って思うこと

五年 市川 笑和

四月を振り返り、目標を持ってがんばった五月は、たくさんの経験をすることができました。その経験を通して、自分をほめたいこと、がんばりたいことが見つかりました。

まず、がんばりたいと思ったことは、英語を少しでも覚えることです。そのために自分が苦手なところを見つけて、自分なりの方法で覚えて、テストや生活にいかしたいです。

次に、自分をほめたいことは、むずかしい学習でもがんばれたことです。算数では、「約数」や「倍数」が特にむずかしく、英語では、四年生から急にレベルが上がり、わからないことだらけでした。でも、あきらめないで努力しようと思う自分を少しでもほめてあげたいです。

これからは、勉強や生活面をふり返って、自分のいいところをのびしていきたいです。